

小諸市の財務諸表(平成26年度)《概要版》

- 作成モデル：総務省方式改訂モデル
- 対象範囲：普通会計
- 作成基準日：平成27年3月31日(平成25年度末)
- 使用した基礎数値：昭和44年度から平成26年度までの「決算統計」データ及び歳入歳出決算書

普通会計財務諸表4表

貸借対照表

地方公共団体が行政サービスを提供するために保有している財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したものです。資産合計額と負債・純資産合計額が一致し、左右がバランスしていることから「バランスシート」とも呼ばれています。

資産	876億円	負債	173億円
【内訳】		【内訳】	
公共資産	764億円	固定負債	156億円
有形固定資産	749億円	地方債	139億円
売却可能資産	15億円	退職手当引当金	17億円
投資等	63億円	流動負債	17億円
投資及び出資金	2億円	翌年度償還予定地方債	14億円
貸付金	1億円	翌年度支払予定退職手当	2億円
基金等	54億円	賞与引当金	1億円
長期延滞債権	8億円		
回収不能見込額▲1億円			
流動資産	49億円		
現金預金等	49億円		
うち歳計現金	11億円		
		純資産	703億円
資産合計	876億円	負債・純資産合計	876億円

行政コスト計算書

1年間の行政活動のうち、福祉活動やごみ収集といった資産形成に結び付かない行政サービスに係る経費と、手数料などの経常的な収益を対比したものです。

経常行政コスト(A)	143億円
【内訳】	
人にかかるコスト	23億円
物にかかるコスト	46億円
移転支的コスト	77億円
その他のコスト	▲3億円
経常収益(B)	5億円
純経常行政コスト	138億円
(A) - (B)	

資金収支計算書

1年間の市の歳計現金(資金)の収支状況を性質別に区分したものです。

期首資金残高	18億円
当期収支	▲7億円
【内訳】	
経常的収支	40億円
公共資産整備収支	▲19億円
投資・財務的収支	▲28億円
期末資金残高	11億円

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを表したものです。

期首純資産残高	691億円
純経常行政コスト	▲138億円
財源調達	150億円
期末純資産残高	703億円

(注) 金額の内訳は、端数処理の関係で一致しない場合があります。